愛知医科大学病院

2027 年度　麻酔科専門研修プログラム

研修実施責任者：　野手　英明

専門研修指導医：　野手　英明　（麻酔、心臓麻酔、集中治療、ペインクリニック）

梶浦　貴裕　（麻酔、小児麻酔）

村松　愛　（麻酔、集中治療、周産期麻酔）

稲垣　友紀子（麻酔、集中治療）

髙橋　徹朗　（麻酔、集中治療、ペインクリニック）

佐藤　航　（麻酔、集中治療）

中村　健人　（麻酔）

岡本　さくら（麻酔、集中治療）

上甲　利南　（麻酔）

鳥居　麻衣　（麻酔）

貞利　隆文　（麻酔、集中治療）

麻酔科認定病院番号：99

愛知医科大学病院の専門医育成の理念

理念

麻酔科専門医制度は、周術期の患者の生体管理を中心としながら、救急医療や集中治療における生体管理、種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において、患者の命を守り、安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで、国民の健康・福祉の増進に貢献する。

②　麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である。麻酔科専門医は、国民が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

専門研修プログラムの概要と特徴

本専門研修プログラムは専門研修基幹施設（以下基幹施設とする）である愛知医科大学病院を中心として、専門研修連携施設（一宮市立市民病院、名古屋掖済会病院、江南厚生病院、桑名市総合医療センター、中京病院、名古屋第二赤十字病院、あいち小児保健医療総合センター、総合大雄会病院、名古屋徳洲会総合病院、総合病院聖隷浜松病院、トヨタ記念病院、春日井市民病院、豊田厚生病院、津島市民病院院）（以下連携施設とする）からなる麻酔科

専門研修プログラムです。
各研修施設の特徴を生かしたカリキュラムにより集中治療、ペインクリニック、小児麻酔、心臓手術、外傷手術（熱傷を含む）などを経験することも可能である。また、術前、術中だけでなく術後の回復までを見通した周術期管理を行うことのできる施設で、術後管理や集中治療を含めたより質の高い研修を行うことができる。ペインクリニック外来での研修を通して、がん性疼痛や慢性疼痛の診療を体験することができる。本専門研修プログラムでは麻酔科領域専門研修プログラム整備基準に定められた麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成できる教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医の育成に努める。
専門研修プログラムの運営方針
プログラム運営方針
研修施設及び各施設での研修期間に関しては、原則として研修プログラム統括責任者と専攻医の面談の上決定する。麻酔科研修カリキュラムの到達目標を達成するために、様々な職場環境や症例を経験できるよう複数の研修施設での専門研修を行うことを推奨する。研修内容・必要経験症例などの研修状況を半年に 1 回の頻度で確認し、プログラムに所属する全ての専攻医が研修期間 3 年間で必要経験数を達成できるようローテーションを構築する。3 年目以降には各専攻医のキャリアプランにも配慮した研修内容を提供できる環境にある。教室全体として JRACE, JBPOT, 麻酔専門試験などの認定試験の試験対策・勉強会などを行い資格の取得をバックアップしている。
取得可能なサブスペシャリティ
集中治療専門医　　心臓血管麻酔専門医*　　ペインクリニック専門医**
いずれも研修認定施設である。
*について、小児心臓麻酔症例は中京病院で経験可能である。
**2024 年度からがん性疼痛に対する神経ブロックなどの診療も開始している。

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

研修実施責任者：　寺澤　篤

専門研修指導医：　棚橋　順治　（麻酔、集中治療、緩和、ペインクリニック）
寺澤　篤（麻酔、集中治療）
平手　博之　（麻酔、集中治療）
杉本　憲治　（麻酔、集中治療、国際救援）
田口　学　（麻酔、集中治療）
古田　敬亮　（麻酔、集中治療）
井上　芳門　（麻酔、集中治療、国際救援）
村橋　一（麻酔、集中治療、救急）

藤井　智章　　（麻酔、集中治療）
牧野　樹　　（麻酔、集中治療）
濱田　一央　　（麻酔、集中治療）
森川　彰大　　（麻酔、集中治療）
奥田　馨都　　（麻酔、集中治療）

麻酔科認定病院番号:632

施設の特徴:

1. 外科系のほぼ全てのすべての科の手術があるため、専門医研修で必要とされている特殊症例の麻酔件数はすべて自院で経験可能になっています。また、脊椎手術や生体腎移植手術も多く経験できます。
2. 日本集中治療医学会の集中治療専門医研修施設です。ICU の管理は麻酔科が強く関わっています。内科系、外科系を問わず重症症例の ICU における管理に従事することができます。
3. 救急車の受け入れ台数が、年間1万 2 千台以上の救命救急センターを有しており、重症救急患者の緊急手術症例の術前管理，術中麻酔管理，ICU での術後全身管理を一貫して学ぶことができます。
4. 日本心臓血管麻酔学会の心臓血管麻酔専門医認定施設であり，成人の心臓・大血管手術の症例数も豊富で，心臓血管麻酔専門医も複数人在籍して、学習環境は整っており、JB-POT 合格者も多数輩出しています。
5. 総合周産期医療センターであり、産科症例も豊富です。硬膜外分娩に麻酔科は積極的に従事しております。
6. 災害拠点病院であり、かつ国際救援部がありますので、将来的に国内、国外災害救護に携わることも可能です。
7. 休日を取得するシステムを明確化して、疲労しないような働き方をできる仕組みづくりをしています

独立行政法人地域医療機能推進機構　中京病院

研修実施責任者: 浅野　貴裕

専門研修指導医: 藤岡　奈加子
浅野　貴裕
森　俊輔
宇都宮　志織
横地　佑磨

友成 祐里

稲見 真由

日本麻酔科学会認定病院取得（認定病院番号:930）

特徴:

1. 当院では麻酔科管理症例が約 3000 例と多く、小児、心臓を含む幅広い手術を行っている。
2. 小児先天性心疾患に対する手術とともに成人心臓外科手術も行っており、心臓血管麻酔専門医認定施設である。
3. 名古屋医療圏の基幹病院であり救急救命センターに多くの緊急手術を必要とする患者が来院し、特に重症熱傷の患者が近隣地域より搬送され、その全身管理を学ぶことが出来る。
4. 末梢神経ブロックや硬膜外麻酔の区域麻酔を活用した麻酔管理を実践しており、その技術、知識、症例経験を積むことが出来る。
5. 集中治療科専門研修施設であり希望があれば研修が可能である。

専門研修連携施設

聖隷浜松病院

研修プログラム統括責任者：鳥羽好恵

専門研修指導医：鳥羽好恵（麻酔）
小倉冨美子（麻酔）
鈴木清由（麻酔）
奥井悠介（麻酔）
池上宏美（麻酔）
近藤聡子（麻酔）
日比野世光（麻酔）
林伶奈（麻酔）
林美帆（麻酔）
菊池高史（麻酔）
堤 啓彰（麻酔）

認定病院番号;233

特徴：心臓血管外科麻酔、周産期麻酔を含め、各分野において新生児から成人の様々な手術麻酔を経験可能。

心臓血管麻酔専門研修医認定施設、集中治療学会専門研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設。



豊田厚生病院　http://toyota.jaaikosei.or.jp/

研修実施責任者：上原博和　anest.trust@gmail.com

専門研修指導医：上原博和（麻酔）

小島康裕（麻酔・ペインクリニック・緩和医療・産科麻酔）

岩伶（麻酔・小児麻酔）

伊藤雅人（麻酔・集中治療・小児麻酔）

酒井博生（麻酔・ペインクリニック・緩和医療・産科麻酔）

川口里奈（麻酔）

川口大地（麻酔・ペインクリニック・緩和医療・産科麻酔）

麻酔科認定病院（認定第1456号）

特徴：

・西三河北部における地域中核病院。豊田市の市民病院的役割を担う。

・地域中核災害医療センター、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院であり年間救急車受け入れ約8,000件を行っている。ドクターヘリによる搬送、ドクターカーの運用を行っている。

・成人心臓血管手術が年間160例程度あり少人数の専攻医でローテーション担当することで経験値が多く得られる。

・Hybrid 手術室にて、EVAR・TEVAR・TAVI・LAAC 症例が増えている。

・硬膜外麻酔、末梢神経ブロックについてはそれぞれ年間150例以上修練が可能である。

・動画教育に力を入れている。麻酔手技 YouTuber「あねす亭ふぇん太」氏との独占提携により一般公開もしくは非公開の大量動画を閲覧することができ、各自のペースで手技に対する理解を深めることが可能である。

・麻酔時緊急状態には「緊急コールシステム」により瞬時に指導医群がヘルプに駆けつける事が可能である。

・術前検査をスムーズに不備なく執り行うことが可能となる「術前検査センター」機能の運用と「麻酔科術前外来」に携わることにより、雑務を極力アウトソーシングしつつかつ術前評価不足無く患者把握が出来る。

・ペインクリニック専門医指定研修施設である。超音波ガイド下神経ブロック、X線透視下神経ブロック（350例/年）、手術療法を積極的に取り入れており修練が可能で

ある。

・麻酔科医主導で無痛分娩管理を行っており修練が可能である。

・日本緩和医療学会基幹施設であり、緩和ケア講習会を定期的に開催している。

・日本緩和医療学会指導医資格を有する麻酔科医を中心に緩和ケア病棟を運営している。

・麻酔科医が緩和ケアチームの一員として関わっており、がん性疼痛にも神経ブロック

及び手術療法を積極的に施行している。

〇地方独立行政法人　桑名市総合医療センター
専門研修指導医：
天野　誉（麻酔、ペインクリニック）
宮原　ひろみ（麻酔）
三浦　智美（麻酔）
新谷　佳大（麻酔）
野手　安美香（麻酔）
西中　文　（麻酔）
専門医：高井　遥香（麻酔）
藤原　彩紀（麻酔）
半田　愛子（麻酔）
大島　貴裕（麻酔）
認定病院番号：1276
特徴：三重県北部の桑員地域における基幹病院として、多彩な症例を経験できる環境です。
消化器外科をはじめ、産婦人科、整形外科、脳神経外科、脊椎外科、呼吸器外科、泌尿器科など幅広い領域の手術麻酔に対応しています。

特に区域麻酔（脊髄幹麻酔、末梢神経ブロック）に積極的に取り組んでおり、各症例に最適な麻酔管理を追求できることが特徴です。
また、毎日の術前外来を通じて、術前評価から周術期管理まで丁寧な診療を実践しています。

春日井市民病院

研修実施責任者：　名原　功

専門研修指導医：　名原　功　　（麻酔、心臓麻酔、集中治療、臨床研究）
山崎　諭　　（麻酔、集中治療）
三宅　健太郎　　（麻酔、集中治療、臨床研究）
末永　大介　　（麻酔、集中治療、ペインクリニック）
鈴木　帆高　　（麻酔、心臓麻酔、集中治療）
野崎　裕介　　（麻酔、心臓麻酔、集中治療）
清水　礼佳　　（麻酔、集中治療、ペインクリニック）
栗本　恭好　　（麻酔、集中治療）
池田　暁彦　　（麻酔、心臓麻酔）
村山　誠弥　　（麻酔、集中治療）
木下　純貴　　（麻酔、集中治療）
浦野　福恵　　（麻酔、心臓麻酔、集中治療）
稲垣　諒将　　（麻酔、集中治療）
服部　裕樹　　（麻酔、ペインクリニック）

麻酔科認定病院番号：822

施設の特徴：

「楽しく論文を書いてみませんか？」

2025 年度から、麻酔科専門医プログラムにおいて、専攻医の専門医取得要件に論文執筆が必須となりました。当科には京都大学公衆衛生大学院修了の臨床研究・EBM の専門家が 2 名在籍しています。
論文執筆や学会発表には、それぞれの「コツ」や「お作法」があります。仕組みを一から理解し、適切な指導を受けることで、将来自らが指導医となった際に後輩を導ける確かなノウハウを身につけることができます。専門医取得の際に論文作成が必須となったことでハードルはやや上がりましたが、私たちのノウハウを活用すれば、「誰でも」「簡単に」「楽しく」論文を書くことが可能です。例として、2 ヶ月で企画からアクセプトまで至った実績もあります（英文誌）。

8. 最大の強みは「教育」です。良い臨床医になるためのプロセス、必要事項を言語化し、適度な症例数、適正な労務管理の元、経験豊富な指導医が「考える臨床医」の育成を行います。
9. 麻酔科医に必要な麻酔はもちろんのこと、集中治療、心臓麻酔、EBM（論文の読み方、使い方)、学会発表、症例報告などの知識、経験、お作法を「系統的に」、「短期間で」、その道の専門家から直接指導で、習得することが出来ます。
10. 専攻医の自主性を重んじており、「ニーズに合わせて」資格取得のための勉強会や、系統的な講義、院内限定の秘伝のノート共有など、専攻医の成長を促す工夫があります。
11. 外科系のほぼ全てのすべての科の手術があるため、専門医研修で必要とされている特殊症例の麻酔件数は全て自院で経験可能になっています。
12. 日本集中治療医学会の集中治療専門医研修施設です。
13. 救命救急センターを有しており、救急外来から ICU までの周術期管理をシームレスに学ぶことができます。循環器内科の症例も含め、内科系の重症患者も管理します。
14. 希望者には学会発表、症例報告、臨床研究など英語、日本語問わず、一から指導します。
15. 疲弊しない労務環境の維持を徹底し、個人の well-being を第一に考えています。

公益社団法人 日本海員掖済会 名古屋掖済会病院

研修実施責任者： 東　秀和
専門研修指導医： 東　秀和　（小児麻酔）
平林　綾香　（小児麻酔）
本池　有希　（産科麻酔）
成田　沙里奈　（麻酔）
鈴木　藍子　（産科麻酔）
片岡　万紀子　（心臓麻酔）
専門医： 小林　千尋　（麻酔）
杉浦　春香　（心臓麻酔）
古橋　聖子　（麻酔）
喜田　藍　（麻酔）
宮田　尊安　（麻酔）
小島　彩友美　（麻酔）
髙田　秀人　（麻酔）

麻酔科認定病院番号：760

施設の特徴
救命救急センターを併設し、愛知県重症外傷センターの指定を受けているので多発外傷などの緊急手術が多い. 末梢神経ブロックも年間1200件程施行している.

産科麻酔の専門施設でトレーニングを受けた麻酔科医主導で無痛分娩を年間50件ほど行っている．小児病院でトレーニングを受けた小児麻酔認定医が在籍し小児麻酔を指導している．心臓血管麻酔の認定施設になっているので心臓麻酔も経験できる．

一宮市立市民病院

研修実施責任者： 加藤 規子

専門研修指導医： 加藤 規子 （麻酔、心臓麻酔）

井上 麻由 （麻酔）

片岡 幸子 （麻酔）

民井 あかね（麻酔，心臓麻酔）

大崎 友宏 （麻酔）

山田　美咲　（麻酔）

瀧　　友紀（麻酔）

麻酔科認定病院番号：1506

施設の特徴 尾張西部医療圏の中核病院として，幅広い分野の症例を経験可能です．心臓血管麻酔専門医認定施設で資格取得を支援しています．また最近は脳外科や循環器科の手術室外麻酔に積極的に取り組んでいます。ワークライフバランスを実践し，快適な職場環境の実現に取り組んでいます。

あいち小児保健医療総合センター

研修実施責任者：　宮津　光範

専門研修指導医：　宮津　光範（小児麻酔、小児集中治療、医療経済学）

山口由紀子（小児麻酔、産科麻酔）

加古　裕美（小児麻酔）

渡邉　文雄（小児麻酔、小児心臓麻酔、心臓エコー）

青木　智史（小児麻酔、小児集中治療、臨床倫理）

北村　佳奈（小児麻酔、小児心臓麻酔）

一柳　彰吾（小児麻酔、QI）

川津　佑太（小児麻酔、シミュレーション教育）

専門医：　中野　晃輔（小児麻酔、心臓麻酔）

森下　博隆（小児麻酔）

澤田　健　（小児麻酔）

手﨑　貴友（小児麻酔）

麻酔科認定病院番号：1472

特徴：すべての外科系診療科がそろっている東海北陸地方唯一の小児専門病院である。

＜当センターの強み＞

A. 概要

小児病院出身のエキスパートから直接指導が受けられる。指導医によるバラつきを極力減らすために制定された「標準手順書」に従って丁寧な指導を行う。標準手順書は最新のエビデンスに基づき毎年アップデートされている。急激に進む少子化の中にあっても麻酔件数は例年並を維持している。小児麻酔技術の習熟に最適な短時間手術が多く、短期間で効率よく経験を増やすことができる。MRI・CTなどの手術室外鎮静も麻酔科医が行っている。希望者は分娩時鎮痛（無痛分娩）に関与することもできる。

B. 独自の教育システム

高機能・高忠実度マネキンを用いた先進的な麻酔シミュレーション、スタッフによる系統レクチャーおよびケースカンファランスを効率的に組み合わせた独自の教育プログラムを実践している。英語の教科書を使った症例ベースの勉強会をフェロー主体で行っている。スタッフはアドバイザーとして参加する。

C. 小児心臓麻酔

新生児症例を含む複雑心奇形の心臓外科手術症例が増加中であり、症例数は東海北陸地方で最多である。当センターは心臓血管麻酔専門医認定施設であるが、心臓血管麻酔専門医が複数名在籍する小児病院は全国でも稀である。フェローは３ヶ月経過後から心臓麻酔研修を開始する。3Dコンピュータグラフィックスを利用した経食道心エコー教育を導入している。センター内に3台の小児用EXCORを保有しており、心臓移植待機目的のLVAD管理を積極的に実施している。

D. 学術活動

臨床研究や論文執筆を含む研究指導にはとくに力を入れている。論文執筆時にはスタッフが責任をもってサポートするが、執筆は強制されない。名古屋大学医学部連携大学院を小児センター内に併設しており、当センターで勤務しながら「PhD; 博士（医学)」の学位取得が可能である。その他の学位取得実績としては、「MPH; 公衆衛生学修士（専門職)」、「MBA; 修士（経営学)」などがある。大学院授業の履修に支障がないように配慮された柔軟な勤務が可能である。

E. PICU

麻酔科はPICUの運営には直接関与していないが、希望者はPICU研修が可能である。東海北陸地方最多である16床のPICUは、麻酔科出身者を含む小児集中治療科専属医師らによりclosed運営されている。術後だけでなく救急経由の入室も多く、小児ECMOは全国トップクラスの症例数と成績を誇る。

F.　小児救命救急センター

ドクターヘリ搬送およびドクターデリバリー（当センター医師をヘリで派遣）が増加傾向であり、愛知県だけでなく岐阜県や三重県からも広く小児重症患者を集めている。

トヨタ記念病院
研修実施責任者：鉄　慎一郎
麻酔科認定病院番号：1240
特徴：
専門医研修で必要とされている症例はすべて経験できる
スポーツ整形外科手術件数が多く、スポーツ選手の手術麻酔を行う機会がある
集中治療科との垣根が低く ICU の研修も可能
卒後 10 年目以上の医師の比率が高いため手厚い指導が受けられる
トヨタ自動車の企業病院であるため福利厚生が充実している

総合大雄会病院

研修実施責任者：道野　朋洋
専門研修指導医：高田　基志（麻酔，集中治療）
道野　朋洋（麻酔）
酢谷　朋子（麻酔，集中治療）
酒井　規広（麻酔，集中治療，区域麻酔）
垂石　智重子（麻酔，集中治療）
上松　友希（麻酔，集中治療）
竹入　由賀（麻酔）
専門医　　：関　絢（麻酔）

認定病院番号　395
特徴：地域医療支援病院

尾張西部医療圏の中核的な施設として、アクセス良好な立地を活かし、多数の患者様を受け入れています。また、資格認定に必要な症例を幅広く経験できる環境を整えております。

患者にも医師にも居心地の良い環境を心がけており、区域麻酔を積極的に活用した管理を行いながら、神経ブロックに練達できるよう効果的な指導を提供しております。さらに、集中治療専門医も豊富に配置されており、希望に応じて集中治療の研修を受けることも可能です。

津島市民病院

研修実施責任者：和田　幸也（麻酔）
専門研修指導医：青山　寛子（麻酔）
　　和田　なつ美（麻酔）

認定病院番号　2023
特徴：
愛知県西部の海部医療圏における唯一の二次急性期病院で急性期を主とした352床の病院。全身麻酔件数は年間1000件程度。
いわゆる中規模の地方病院であり、他科の医師も穏やかな先生が多く、自分のペースに合わせて仕事を進めていくことも可能である。
高齢者の多い地域であり、複数の合併症のあるハイリスクな麻酔管理も経験できる。当医療圏には病院が少ないため、二次急性期病院で可能な緊急手術も多数行っている。

医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院
研修実施責任者： 赤堀 貴彦
専門研修指導医： 赤堀 貴彦（麻酔）
畑平 安香（麻酔）
田中 久美子（麻酔）
高柳 博子（麻酔）
加藤 ゆか里（麻酔）
兒玉 絵里（麻酔）
田中　美緒（麻酔）
小林　加奈（麻酔）

専門医： 樋上　拓哉（麻酔）
恒川　亜里紗（麻酔）
富田　新也（麻酔）

日本麻酔科学会認定病院取得（認定病院番号：1133）
特徴：心臓血管麻酔専門医認定施設です。1 年間で 400 件以上の心臓外科手術（開心術は約 310 件）の麻酔管理を行っております。ダビンチを使った心臓手術、 VAD、インペラ

、TAVI、M-TEER などの件数も豊富です。緊急手術が多いのも当院の特徴で、A 型解離の緊急手術は年間約 100 件行っております。心臓手術だけではなく消化器、肝胆膵、食道、肺、外傷、関節、脊椎、ダビンチを使った泌尿器科手術、開頭、血管内治療、口腔外科と多彩な手術の麻酔管理を行っております。耳鼻科、産婦人科はありません。

藤田医科大学病院

研修プログラム統括責任者：中村　智之
研修実施責任者：中村　智之　（麻酔、集中治療）
専門研修指導医：山下　千鶴（麻酔、集中治療）
原　嘉孝　（麻酔、集中治療）
小松　聖史（麻酔、集中治療）
川治　崇泰（麻酔、集中治療）
専門医(FD講習受講) 古賀　恵里（麻酔、ペイン）
永田　麻里子（麻酔、集中治療）
鈴木　紳也（麻酔、集中治療）
藤原　凌（麻酔、集中治療）

認定病院番号　104
特徴：

１．　国内トップクラスの手術件数・麻酔件数を誇り、一般的な疾患の麻酔管理から小児、ロボット支援下手術、移植手術（肺移植、肝移植、膵腎同時移植、膵単独移植、腎移植)、心臓血管外科手術（TAVIを含む）など特殊な病態・稀な疾患の麻酔管理まで幅広い研修が可能である。

２．　全年齢・全科対応のgeneral ICUを麻酔科医が管理している。急性血液浄化療法、ECMO、経空腸栄養、急性期呼吸リハビリを積極的に実施しており、重症患者に対する集中治療の研修が可能である。麻酔と集中治療を共に「侵襲制御」と考え、術後ICU管理も含めたシームレスな術中・術後の全身管理を研修可能である。術中麻酔管理だけでなく、幅広い分野で活躍する麻酔科医の育成に努めている。

３．　敗血症など院内急変患者の対応だけでなく、院外からも重症小児救急、心臓血管外科疾患の救急、体外式膜型人工肺（ECMO）による治療を要する重症呼吸不全、重症肝不全などを受け入れており、これら超重症救急患者に対する充実した研修が可能である。

４．　ECMO car、Drヘリを用いた重症患者の搬送を麻酔科医が主体となって行っており、ECMO transportの研修も可能である。

５．　ペインクリニック外来にて超音波ガイド下末梢神経ブロックの研修も可能である。

６．　麻酔科医によるMET（Medical Emergency Team）を構成して、院内急変の対応を行なっており院内救急の初期対応などの研修も可能である。麻酔・集中治療・救急以外の分野でもInfection control teamやNutrition support team、医療安全など、院内の横断的な組織にも麻酔科医が積極的に関与している。

愛知県厚生農業協同組合連合会　江南厚生病院

研修実施責任者:野口　裕記

専門研修指導医:野口　裕記（麻酔、救急医療）

黒川　修二（麻酔、ペインクリニック、心臓血管麻酔）

中島　淳太郎（麻酔）

床本　光弘　（麻酔）

鏡味　真実（麻酔）

日本麻酔科学会認定病院取得（認定病院番号:1112）

特徴:
1. **年間麻酔科管理症例数　3071 件（内　全身麻酔　2785 件）と症例数が多い。**
2. **2026年4月より心臓血管外科手術が開始され、専門医プログラム必須症例の診療科が揃っている。**
3. **帝王切開術症例（約 214 件/年）と脊椎外科症例（385 件/年）が多い。**
4. **末梢神経ブロックや硬膜外麻酔併用症例（約 622 件/年）を行っており、手技を習得できる。**

2027 年度

公立西知多総合病院　麻酔科　紹介文

特徴：知多半島北西部地域の中核病院として、心臓血管外科以外の手術麻酔を幅広く経験できます。術後鎮痛にも力を入れており、硬膜外麻酔、神経ブロックを積極的に行い、iv-PCA も導入しています。

6 床の Closed ICU を運営しており、大侵襲術後患者だけでなく救急外来や病棟からの重症患者を受け入れており、幅広い疾患を経験することができます。ICU での全身管理を学ぶことができ、集中治療科専門医の取得も可能です。ペインクリニック外来におけるペインクリニック診療、緩和ケア病棟におけるブロック、救急診療センターにおける救急診療、ドクターカーによる病院前救急も学ぶこともできます。